



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社MCJ

コード番号 6670 URL <http://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長

(氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 石戸 謙二

TEL 03-5821-7114

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	21,388	10.9	608	17.4	658	30.2	319	4.1
25年3月期第1四半期	19,282	—	518	—	505	△47.4	307	△39.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 550百万円 (△18.5%) 25年3月期第1四半期 675百万円 (△15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	6.41	—
25年3月期第1四半期	6.04	—

(注) 25年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、表示方法の変更に伴い組替えが行われたため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	44,757	18,315	40.3
25年3月期	42,251	17,928	41.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 18,023百万円 25年3月期 17,645百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
25年3月期	—	0.00	—	3.26	円 銭	3.26
26年3月期	—	—	—	—	円 銭	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	3.72	円 銭	3.72

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,174	4.6	910	62.4	955	73.2	496	27.6	9.96
通期	84,867	△1.2	2,195	21.3	2,235	28.6	1,233	16.9	24.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	50,862,300 株	25年3月期	50,862,300 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,035,834 株	25年3月期	1,035,834 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	49,826,466 株	25年3月期1Q	50,852,266 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府発表の月例経済報告によれば、個人消費が持ち直し、企業収益も改善が見られるなど、景気は着実に持ち直してきております。一方、当社グループが事業展開している欧州経済は、金融不安の残存により景気低迷が続いており、失業率も高水準で上昇し続けるなど、引き続き厳しい環境で推移しました。

当社グループの属するパソコン業界におきましては、新OS（オペレーティングシステム）への移行が順調に進んでいないことやモバイル端末との競合等により、世界市場での総出荷台数は前年同四半期比で引き続き減少しました。また、社団法人電子情報技術産業協会の発表によれば、国内のパソコンの出荷台数は前年同四半期比18.1%減、出荷金額は同16.8%減となり、販売単価の下げ止まりが見られるものの、市場規模は前年同四半期比で引き続き縮小しました。

このような状況の中で、当社グループは、「マウスコンピューター」「パソコン工房」をメインブランドとするBTO（受注生産）・完成品パソコンの製造・販売と、CPU（中央演算処理装置）・マザーボード・HDD（ハードディスクドライブ）をはじめとするパソコン基幹パーツの卸売・小売を中心に、引き続きマーケットのニーズを的確に汲み取りながら、適切な収益の確保を念頭に置いて事業を展開してまいりました。

この結果、前年第2四半期より連結決算に組み入れた株式会社グッドウィル（子会社の株式会社ユニットコムにより昨年10月1日付で吸収合併）の連結業績への通期寄与に加え、新しいCPUの発売時期に当たったこともあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は21,388百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。また、利益面におきましては、販管費の抑制もあり、営業利益は608百万円（前年同四半期比17.4%増）、経常利益は658百万円（同30.2%増）、四半期純利益は319百万円（同4.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ①パソコン関連事業

「マウスコンピューター」ブランドによるパソコン及び「iiyama」ブランドによる液晶ディスプレイの国内製造・販売部門においては、法人向けの販売が前年同四半期実績を上回ったこと等により、売上高・営業利益ともに前年同四半期比で増加しました。

「iiyama」ブランドによる液晶ディスプレイの欧州販売部門においては、タッチパネルモニタの販売を伸ばしたほか、円安ユーロ高の進行も寄与し、売上高・営業利益ともに前年同四半期比で増加しました。

「パソコン工房」「Faith」「TWOTOP」「GOODWILL」「BUY MORE」等のブランドで全国に店舗展開する小売部門においては、株式会社グッドウィルの買収効果のほか、不採算店舗の閉店を進めたことも寄与し、売上高・営業利益ともに前年同四半期比で増加しました。

パソコン及びCPU・マザーボード・HDD等パソコン基幹パーツの代理店販売・卸売部門においては、新CPUの発売時期に当たったこともあり、売上高・営業利益ともに前年同四半期比で増加しました。

これらの結果、当事業における売上高は21,036百万円（前年同四半期比11.5%増）、営業利益は616百万円（同30.4%増）となりました。

#### ②メディア事業

メディア事業部門においては、出版市場の縮小が続く中、主力とするコンピューター関連書籍の販売低迷により、売上高・営業利益ともに前年同四半期比で減少しました。

この結果、当事業における売上高は352百万円（前年同四半期比14.0%減）、営業損失は17百万円（前年同四半期は営業利益40百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は44,757百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,505百万円の増加となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金やたな卸資産が増加したこと等によるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は26,441百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,117百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が増加したものの、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は18,315百万円となり、前連結会計年度末と比べて387百万円の増加となりました。これは主に、剰余金の配当を実施したものの、四半期純利益により利益剰余金が増加したことに加え、その他の包括利益累計額が増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、第1四半期連結累計期間の業績の動向等をふまえて、平成25年5月14日に公表しました予想数値を修正しておりますので、平成25年8月1日付け「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

当社グループは、主力事業であるパソコン関連事業において、マーケットのニーズを的確に汲み取りながら、最新技術を用いたパーツをいち早く取り入れ、これを迅速に且つリーズナブルな価格で製品化して市場投入することを源泉とする、従来から持つ競争力を引き続き強化し、連結業績予想の達成に向けて経営努力を重ねてまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (4) 追加情報

#### (表示方法の変更)

##### (不動産賃貸事業に係る損益の表示方法の変更)

従来、不動産賃貸事業に係る賃貸収入は、「営業外収益」の「受取賃貸料」に含めて表示するとともに、関連する原価は「販売費及び一般管理費」及び「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「売上高」及び「売上原価」に含めて表示する方法に変更いたしました。

この変更は、当社の連結子会社において不動産事業を開始し、当該事業を新たな収益源の一つとして位置付けたことから、事業運営の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。当該変更により、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取賃貸料」に含めて表示していた26,067千円は「売上高」に組み替えるとともに、「販売費及び一般管理費」に含めて表示していた1,341千円及び「営業外費用」の「その他」に含めて表示していた4,770千円は「売上原価」に組み替えております。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

##### (ウイルス対策ソフトに係る手数料収入等の表示方法の変更)

従来、ウイルス対策ソフトや検索エンジンに係る手数料収入については、「営業外収益」の「受取手数料」に含めて表示しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めて表示する方法に変更いたしました。

この変更は、近年、当該手数料収入の金額的重要性が高まっていることに加え、当第1四半期連結会計期間において、当該手数料収入の確保を当社グループの主力事業であるパソコン関連事業において重点施策の一つと位置付けたことから、営業活動の成果をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。当該変更により、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「営業外収益」の「受取手数料」に含めて表示していた42,688千円は「売上高」に組み替えております。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,516,046	10,585,827
受取手形及び売掛金	10,643,245	9,966,339
商品及び製品	10,235,008	11,899,050
仕掛品	127,221	168,673
原材料及び貯蔵品	2,403,651	2,733,247
その他	1,860,267	1,911,562
貸倒引当金	△11,905	△14,968
流動資産合計	34,773,536	37,249,732
固定資産		
有形固定資産	3,182,022	3,315,646
無形固定資産		
のれん	1,946,041	1,913,154
その他	655,525	665,685
無形固定資産合計	2,601,566	2,578,840
投資その他の資産		
その他	1,765,446	1,685,526
貸倒引当金	△70,683	△72,557
投資その他の資産合計	1,694,763	1,612,969
固定資産合計	7,478,352	7,507,455
資産合計	42,251,889	44,757,188
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,554,414	5,752,248
短期借入金	9,151,647	11,563,674
未払法人税等	197,288	112,187
引当金	867,376	736,364
その他	2,297,322	2,273,611
流動負債合計	18,068,047	20,438,086
固定負債		
社債	550,000	540,000
長期借入金	4,408,556	4,173,286
退職給付引当金	720,939	700,676
その他の引当金	123,310	125,400
その他	452,854	463,805
固定負債合計	6,255,660	6,003,168
負債合計	24,323,708	26,441,254

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,849,104	3,849,104
資本剰余金	8,335,508	8,335,508
利益剰余金	6,007,454	6,164,600
自己株式	△170,062	△170,062
株主資本合計	18,022,005	18,179,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,740	△1,786
繰延ヘッジ損益	2,908	△23,053
為替換算調整勘定	△377,944	△131,287
その他の包括利益累計額合計	△376,775	△156,128
少数株主持分	282,951	292,910
純資産合計	17,928,181	18,315,933
負債純資産合計	42,251,889	44,757,188



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	19,282,689	21,388,813
売上原価	15,816,156	17,632,699
売上総利益	3,466,533	3,756,113
販売費及び一般管理費	2,948,167	3,147,535
営業利益	518,366	608,577
営業外収益		
受取利息	7,072	9,196
為替差益	—	29,482
負ののれん償却額	4,604	4,604
受取手数料	7,966	22,656
その他	18,385	18,470
営業外収益合計	38,029	84,410
営業外費用		
支払利息	16,973	21,867
為替差損	24,625	—
その他	9,030	12,862
営業外費用合計	50,629	34,729
経常利益	505,766	658,259
特別利益		
固定資産売却益	5,798	—
特別利益合計	5,798	—
特別損失		
固定資産除却損	—	7,253
減損損失	—	1,481
貸借契約解約損	—	46,934
その他	—	8
特別損失合計	—	55,677
税金等調整前四半期純利益	511,564	602,581
法人税、住民税及び事業税	155,586	119,350
法人税等調整額	39,564	153,691
法人税等合計	195,150	273,042
少数株主損益調整前四半期純利益	316,414	329,539
少数株主利益	9,413	9,958
四半期純利益	307,000	319,580

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	316,414	329,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,315	△45
繰延ヘッジ損益	—	△25,962
為替換算調整勘定	381,018	246,656
その他の包括利益合計	358,702	220,647
四半期包括利益	675,117	550,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	665,703	540,227
少数株主に係る四半期包括利益	9,413	9,958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	パソコン 関連事業	メディア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,872,373	410,316	19,282,689	—	19,282,689
セグメント間の内部売上 高又は振替高	418	—	418	△418	—
計	18,872,792	410,316	19,283,108	△418	19,282,689
セグメント利益	472,809	40,767	513,576	4,789	518,366

(注)1. セグメント利益の調整額4,789千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,075千円、セグメント間取引消去113,862千円、その他の調整額2千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	パソコン 関連事業	メディア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,036,013	352,800	21,388,813	—	21,388,813
セグメント間の内部売上 高又は振替高	652	—	652	△652	—
計	21,036,665	352,800	21,389,466	△652	21,388,813
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	616,470	△17,299	599,170	9,407	608,577

(注)1. セグメント利益の調整額9,407千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,772千円、セグメント間取引消去121,178千円、その他の調整額1千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」に記載の通り、不動産賃貸事業に係る損益及びウイルス対策ソフトに係る手数料収入等について表示方法の変更を行っていることから、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、当該表示方法の変更について必要な組替えを行っております。なお、これらの損益は、経営管理上の区分に従い、パソコン関連事業の損益に含めて表示しております。